

## 少年野球随想<sup>5</sup>

### 「グランドゴルフ」

荒井 義一

昔は、おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行ったものだが昨今の年寄りにはグランドゴルフに夢中になっている。

それはいい。長生きするため健康増進に精出すことに反対する理由はないのだが、一つ文句がある。

自分たちの楽しみのために少年野球のグラウンド／小学校校庭を使用していることである。少年野球は土、日、祝祭日しか練習、試合が出来ない。年寄りたちは毎日が日曜日である。高瀬町運動広場はウィークデーはガラガラ。そこへ自転車なり、車に相乗りして行ってやればいいではないか。なにも孫たちの領域（小学校の校庭）を使うことはないのである。少年野球チームはみな困っているのだが、文句も言えず泣き寝入りしているのだ。

そのことよりも最近の年寄りたちはなぜ、孫たちと一緒に遊ばないのだろうか？

\*

隣国、中国の話を書く。

中国もご多分にもれず高齢化社会で年寄りたちが公園のベンチで三々五々、所在なくぼんやりしている情景はわが国と同じだが一つ違うところがある。みなが

“時間を気にしていることである”

といつのは子どもたちが下校して公園へ遊びに来るのを待っているのである。

そこで一緒に昔の遊びを教えたり、昔話を話したり、宿題を見てやったりしているのだ。日本でも各公民館の児童ホームでボランティア団体が、折り紙教室、人形劇、紙芝居民話、工作等々教えているが、それはほんの一部の年寄りだけである。大多数は自分たちの趣味を楽しんでいるのである。

グランドゴルフの他にゲートボール、社交ダンス、温泉旅行、カラオケ、囲碁、将棋、

・・・こんなことで良いのだろうか？・・・だから孫たちの声を知らないからオレオレ詐欺に簡単に引っかかり、何十万も何百万も銀行に振り込む破目になるのである。

長生きしたかったら

“世のため、人のために尽くすことだ”

と先哲は言った。もう一度、この言葉を噛みしめるべきだと思う。

\*

この正月、懇意にしている市会議員より年賀状をもらった。その返事に

“この現状をなんとかならないか・・・”

と書いたら、すぐ電話が来て

“研究”しますと言って来た。“検討”でなく“研究”である。

“研究”を広辞苑でひくと“良く調べ、良く考えて真理を知ること”とある。

“研究”というのは時間がかかるんだよなあ・・・

(注)高瀬町運動広場はゴルフの練習は全面禁止である。その理由はボールが人に当た

ると大怪我をすること、もう一つは若松公園  
管理事務所の職員が車でトンボをかけるとき  
ボールが鉄輪にからんでもの凄い勢いで何百  
メートルも飛ぶからである。

だが、グランドゴルフのボールは大きく、  
広場に置き忘れることがない。

(平成18年3月10日脱稿)